



2018年(平成30年)
12月1日
第7号
発行所
〒632-0018
奈良県天理市別所町80-1
天理医療大学内
天理医学技術学校同窓会事務局



天理医学技術学校同窓会
電話0743-63-7811
www.teniko-dousoukai.jp

3校統合同窓会開設に向けて

同窓会長 木寺英明

昭和42年に天理よろづ相談所病院の看護師と検査技師を養成するために開校された天理高等看護学院(後に天理看護学院)と天理衛生検査技術学校(後に天理医学技術学校)は、その使命を天理医療大学に引き継がれ平成26年に閉校しました。天理医療大学の1期生が卒業する前に3校の同窓会は1つに統合される予定でしたが、諸事情により統合されずに別々の同窓会運営を行ってきました。各同窓会の主な運営資金は新しく入会する卒業生の入会金でしたので、天理看護学院同窓会と天理医学技術学校同窓会は継続的運営が将来できなくなってしまう状況にあります。同窓会会員の皆様には何卒この状況をご理解頂きますようお願い申し上げます。

別々に運営してきた同窓会がいきなり統合して、うまく運営していくのは簡単なことではありません。そこで、3校の同窓会役員が話し合う目的で、「3校統合同窓会設立準備委員会」を立ち上げて、それぞれの立場を理解し、十分な話し合いのもとに、各学校の卒業生にとって意味のある同窓会運営を目指しています。「3校統合同窓会設

立準備委員会」を次の6回開催して話し合ってきました。

- 第1回 平成30年1月5日
3校の同窓会役員全員と天理医療大学事務局2人が参加して立上げ
 - 第2回 平成30年3月23日
医療大学2名、看護学院3名、医学技術学校(木寺、北川、大林、中村)4名参加
 - 第3回 平成30年5月18日
医療大学3名、看護学院2名、医学技術学校3名(木寺、北川、中村)参加
 - 第4回 平成30年7月20日
医療大学3名、看護学院3名、医学技術学校4名(木寺、大林、中村)参加
 - 第5回 平成30年9月28日
医療大学4名、看護学院2名、医学技術学校3名(木寺、北川、中村)参加
 - 第6回 平成30年11月16日
医療大学3名、看護学院2名、医学技術学校(木寺、北川)参加
- 6回の話し合いを重ねた結果、平成32年10月25日(日)に3校統合同窓会総会を

3校統合同窓会 設立準備委員会メンバー

天理医療大学		天理医療大学同窓会	
事務局長	寺田 豊	会長	茶木 善成
事務局次長	松山 仁志	副会長	中島 琴美
		副会長	清水 智子
		事務局長	和泉 大輝
		書記	坂本 真喜世
		会計	吉井 政道

天理看護学院同窓会		天理医学技術学校同窓会	
会長	鶴巻 智恵	会長	木寺 英明
副会長	河野 しづゑ	副会長	北川 孝道
書記	内之宮 綾子	事務局長	中村 彰宏
書記	桐田 みさえ	幹事	大林 準
会計	稲塚 香織	幹事	武田 侑子
		幹事	清水 一茂
		会計	川邊 美智子(代理:川邊 晴樹)
		会計監査	倉村 あいみ(代理:倉村 英二)

開催することで合意しました。現段階で3校同窓会の合意が得られているのは、名称を「天理よろづ相談所学園同窓会」とすること、今までの3校同窓会を部会として存続させることで、各部会の役員が統合同窓会を運営していくことです。これらのことは、3校統合同窓会総会で会員の承認を得て決定されます。

ここで、天理医学技術学校同窓会として問題となるのは、次回の本会同窓会総会は平成34年3月の予定でしたので、3校の同窓会を統合することの承認をいつどのようにして賛同を得るかということです。この会報で会員の皆様にお伝えしたいことは、臨時同窓会総会を開催しなければならなくなったことです。本来ならば平成34年3月に開催予定の同窓会総会を平成32年10月25日(日)に臨

時同窓会総会という形で開催しなければならなくなりました。それに伴い、同窓会役員も改選されることとなります。

現在、天理医学技術学校同窓会の役員は「一手一つ」の7号会報作製に取り組みながら、3校統合同窓会設立準備委員会において、看護学院同窓会役員および天理医療大学同窓会役員の方々と話し合いを重ね、慣れない会則素案作りに取り組んでおります。3校統合同窓会総会の開設に関しましては、会員の皆様のご理解とご支援がなければ開設することができませんので、どうか3校統合同窓会開設に関してもご意見(ホームページ記載のアドレスまでお願い致します)を頂き、ますます発展行けるよう盛り上げて頂きたくお願い申し上げます。



左から寺田事務局長、鶴巻会長、松山事務局次長、木寺会長、茶木会長

奈良県総合医療センター新築移転の紹介

地方独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター
臨床検査部 副技師長 第14期卒 中田 恵美子



はやいもので、天理医学技術学校を卒業して35年が過ぎました。14期生の中田恵美子(旧姓森下)と申します。この度、『一手一つ』の原稿依頼を受け、文章を書くのは苦手ですが、折角の機会ですのでお引き受けいたしました。

私は現在、奈良県奈良市にあります奈良県総合医療センターに勤務しております。天理医学技術学校を卒業後、3か月修養科に入り、現在の奈良県総合医療センターの前身である奈良県立奈良病院にアルバイトとして半年間勤務したのち、正規職員となりました。当センターは、今年(平成30年)5月1日に、奈良市七条西町(第二阪奈道路の南側、富雄川の東側の高台に位置します)に移転いたしました。7万9635平方メートルの広大な敷地に、鉄骨造り一部鉄筋コンクリート(免震構造)、地下1階地上7階建て建築されました。大規模災害時にもインフラ供給(電力、通信、給水、排水、都市ガス、医療ガス)が継続して確保できるように医療継続計画(Medical Continuity Plan)に沿っています。基本理念を『医の心と技を最高レベルに磨き、県

民の健康を生涯にわたって支え続けます』とし、奈良県北和の基幹センターとして、県民および地域住民に安心と信頼を得られるセンターづくりと医療の提供を目指しております。新設の診療科もあり、旧センターより110床多い540床を備え、奈良の地域医療を支える7つの目標を掲げております。それは、①救命救急の充実、②周産期医療の充実、③専門的ながん医療の充実、④小児医療、⑤糖尿病治療、⑥精神医療、⑦災害医療です。これらの目標を達成するために、救命救急センター、周産期母子医療センター、集約的がん治療センター、心臓血管センター、脳神経センターが配置されております。臨床検査部は2階と4階に分かれており、2階では、採血、採尿、患者説明、一般検査、生理検査を行っており、4階では、生化学検査、血液検査、遺伝子検査、病理検査、微生物検査、輸血検査を行っております。臨床検査技師は、正規職員34名、嘱託職員10名が勤務し、そのうち天理医学技術学校の卒業生は14名と約3割を占めております。その中

でも天理よろづ相談所病院のOBである岡山幸成さん、安田正利さん、津田勝代さん、原田譲さん、太田奈津子さん、瀬川義朗さんに

は、今まで培ってきた臨床検査の知識、経験、技術などを先輩や当センター技師に育成指導していただき、大変助けていただいております。

今振り返り、改めて、天理医学技術学校の卒業生で本当に良かったと思っております。そして、諸先輩方を見習い、卒業生として恥じることのない臨床検査技師を目指し精進したいと思っております。



奈良県総合医療センターで働く天理の卒業生



奈良県総合医療センター外観

教育は「共育」である。

公益財団法人 天理よろづ相談所病院

臨床検査部長 松尾収二



私は、昨年1月、再び天理よろづ相談所病院臨床検査部長として着任しましたが、その前の7年間の天理医療大学（準備室含む）在籍は私に「教育」の大切さを教えてくれました。そして、学生との関わりを通して多くのことを学びました。

私にとって、「教育」とは「教えて育つ」のは学生だけではなく、むしろ教える「私自身」だと思えました。これには2つの意味があります。1つ目は、授業でもっとも勉強になったのは私自身ではないかということです。非常勤講師のとき以上に気を配り勉強しました。解剖生理や病態の理解は検査データの読み方を強化するのに大変役に立ちました。2つ目は学

生という「人」と接することで多くを学ばせてもらいました。精神が病んでいる学生、人間関係で悩む学生、経済的に恵まれない学生、授業についていけない学生など色んな学生がいましたが、そんな中、人は成長するということを教えてくれたのは彼らでした。3回生の臨床実習、4回生の卒業研究、そして就職活動といった人と人とのつながりが求められ、自分とも向き合わなければならぬ諸々のことを経験する中で徐々に変わっていききました。彼らは意外に自分のことを冷静にみているし、将来のことを考えていました。そして、親、家族を大事に思っている若者が多いことを知りました。振り返って私自身の生き様はどうであったのか、また私の子供たちに対する教育や仕上げはどうであったかも考えさせられました。まさに「共育」の時間を過ごした気がしています。

人生において、良き人との出会いは相手が若い年寄り関係ないことを知りました。最近、若いレジデントの医師が臨床検査部に研修に来てくれます。これに臨床検査部のスタッフも真剣に受けてくれます。大変、感謝しています。「教えて学ぶ」「共育」こそが天理よろづ相談所病院の神髄であり、天理という懐の深さ、優しさもたらしてくれていると思っています。天理で育てられた卒業生の皆さま方にもその血が流れていると思います。いずれの地にあっても、そして学生であっても社会人であっても「教育」の意味を実践して頂くことを切に願っております。

追記

来年、第20回検査血液学会学術集会を天理で開催します。一般演題を重視しています。一般演題は、自分で考え自分でもとめ人に伝えること、すなわち自分が育つ機会だと思っています。是非、廻りの方を誘って天理へおかけ下さい。

平成30年度叙勲受賞

天理医療大学

医療学部

臨床検査学科

特任講師

第4期卒

山本慶和



今年ももう冬至を迎える季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、このたび、平成30年度の春の叙勲にさいまして、瑞宝双光章の栄に浴しましたところ、ご丁寧なお祝いのお言葉を頂き、誠にありがとうございました。これもひとえに天理よろづ相談所病院の臨床検査部、奈良県臨床検査技師会、天理医療大学、そのほか関わりのある皆さまのご支援とご協力のおかげだと思っております。誠にありがとうございました。

天理衛生検査技師学校に入学してから、天理よろづ相談所病院の勤務、そして現在天理医療大学の特任講師まで、私のようなものがおよそ半世紀の長い間、天理の地で臨床検査に携わらせていただいたことにただただ感謝する次第です。このように長年、臨床検査に現役として携わってきたことのご褒美にいただいたものと受け止めております。

天理よろづ相談所病院における40年は、正確で精度よく適切なタイミングに検査データを提供する臨床検査のモットーの実現であったように思います。一言で言えば、検査データに基づく診療体制の構築と云ってよいものでした。

奈臨技役員では外部精度管理調査の統一化事業化、近畿医学検査学会に若い技師さんが参加しやすくするために教育セッションの常設化、奈良県の臨床検査に関わる団体(奈良県医師会、奈良県病院協会、奈良県臨床検査医学専門医会、日本衛生検査所協会近畿支部および奈良県(医療政策・医療管理課)で構成される奈良県臨床検査協議会の設立などに関わってきました。日臨技役員では臨床検査データ共有化部会において共有基準範囲の設定、精度が確保された検査室を第三者認証する精度保証施設認証事業(平成30年度800施設が認証取得)など臨床検査の標準化に関わってきました。この技師会の共有基準範囲は日本臨床検査協議会において共用基準範囲として



皇居にて

全国で統一して使用(共用)できる基準範囲に発展し公開されるに至りました。精度保証施設認証制度は今年の法改正に伴いグレードアップ(全部門を対象)した品質保証認証制度となることを期待しております。

日立自動分析研究会は今年で43回を迎えますが(いくぶんクローズな会ではありません)、私にとって外すことのできない会であります。この研究会は天理で自動分析装置を導入した翌年からスタートしました。はじめは装置への不具合改善、機能アップを要望する会的でしたが、次第に検査室の問題、精度管理、データの読み方など実践的な事を学ぶ会となり現在も継続しています。また、10数年前から若い技師に自動分析装置を中心とした技術・知識の教育の場として高橋開智塾を設け(今年で13期目)、これまでに受講者は360人に余りとなりました。もう一つ、協和メダックスの絶大なる協力を頂き試薬分析研究会を続けてきたことを述べさせていただきます。これは若い技師に化学的検査の面白さを知ってもらうとおうと試薬の組み立て、実験計画、自動分析による実験、結果の考察、および発表といった一連の過程を実践する会を長年続けてきました。

このように長年臨床検査に関わってこれたのも家族の理解と協力があってこそできたものです。家内の公江の寛容が支えとなっていたことにお礼と感謝をささげたいと思います。

医療功労賞を受賞して

公益財団法人 天理よろづ相談所病院
臨床検査部CE部門 第14期卒 杉邑芳樹



去る2月7日に第46回奈良県医療功労賞を受賞しました。医療功労賞は読売新聞社主催、厚生労働省、日本テレビ放送網後援の賞で、地域医療への貢献者を表彰する目的で1972年に創設されました。これまでに全国表彰728名、都道府県表彰4438名が表彰されています。今回の私の受賞は臨床工学技士として、一般社団法人奈良県臨床工学技士会(森諭司理事長)の推薦を頂き、技士会事務局長、天理医学技術学校臨床工学専攻科教員としての実績が評価された結果でした。新聞等に掲載されて各方面の方々よりお祝いの言葉や、労いの言葉を頂戴いたしました。この場をお借りして今までお世話になった方々に厚く御礼申し上げます。今回の受賞で最も嬉しく思ったことは、歴史が浅く認知度の低い臨床工学技士という医療資格

とその業務内容を多少なりとも一般の人に知って頂けたことです。

私は1983年3月に天医校第14期生として卒業、4月に憩の家臨床病理部に入職、呼吸機能検査および心電図検査を主とした生理検査に従事、その後、緊急検査、糖尿病検査等にも従事しました。また、兼任で人工呼吸器、人工透析、心臓カテーテル検査、人工心肺等の生命維持管理装置の操作、保守管理業務にも従事させていた

だき、1989年に臨床工学技士免許を取得しました。1996年5月に天医校臨床検査学科に異動し、専任教員として臨床検査技師教育に携わりました。2001年4月には新設された同校臨床工学専攻科の専任教員、2008年4月には同専攻科教務主任となり、臨床工学技士教育に携わりました。兼任で2009年4月からは神戸学院大学栄養学部客員教員として呼吸機能検査の講義をさせて頂いております。

天医校で約18年間勤務した後、2014年4月より再び、憩の家臨床検査部CE部門に戻り、臨床工学技士としてICUを中心とした病棟で生命維持管理装置等の操作、保守管理に従事して現在に至っております。

臨床に戻り4年になりますが、さすがに18年のブランクは大きく、浦島太郎状態で周りの技士に迷惑をかけることも多々ありましたが、嫌な顔ひとつせず指導して頂き、なんとか現在に至っております。当院の臨床工学技士の多くが天医校臨床工学専攻科の卒業生であり、私に対してやりにくい事も多々あると思いますが親切にして頂き大変感謝しております。

臨床に戻り患者を中心に医師、看護師、臨床工学技士をはじめ多くの医療従事者によつて行うチーム医療の大切さを再認識しております。チーム医療においてはおちばで教えて頂いた『一手一つ』の精神が役立つ事も再認識しました。医療安全の観点からチーム内の良好なコミュニケーションが非常に重要であることも実感しております。

今回の受賞を糧にして、今後も微力ではございますが、チーム医療の一員として少しでも患者様の役に立てるよう『一手一つ』の精神で努力して参ります。ご指導の程、よろしくお願いたします。

定年退職者コラム 天理医学技術学校第11期生

天医校11期生(昭和55年西暦1980年卒業生)は還暦を迎えました。5年おきと同窓会を行ってきましたが、お互い卒業以来会っていない人が沢山いますのでこの機会に近況を書いていただきました。なお数字は当時の出席番号です。

1. 石川明美(奈良県)

今年5月フランスで6月日本で息子の結婚式を無事終えホッとしております。お嫁さんさんの母国では、ご家族と言葉は通じないものの翻訳アプリとカタコトで和やかに過ごしました。学生の頃は海外に親戚ができるとは、思ってもないことでした。そんな歳になりました。

3. 加藤(石神)陽子(静岡県)

4月に還暦を迎え現在60歳、家族の皆に還暦祝いをしてもらいました。気持ちには学生時代と全く変わらず、現在循環器専門のクリニックで検査業務をしています。医療現場で働く我が子を見ていると、当時の自分たちを思い出します。仕事ができる事に感謝し、向上心を持ち、健康に留意しながら頑張ろうと改めて感じています。

5. 猪田猛久(奈良県)

今年5月に38年間勤務していた天理よろづ相談所病院を定年退職しました。定年退職時の挨拶、送別会など何か本場に現実なのか狐に騙されているような感覚を持っていました。定年退職後も仕事を続けたいと思っていました。幸い済生会中和病院で仕事をさせていただけることになり、戸惑い

ながら頑張っています。

6. 須賀(内野)知子(兵庫県)

来年3月末で定年を迎えようとしています。今は、居なくなるための準備をぼちぼちやっています。卒業してからずっと働くことが出来たのは、あの暑くて寒い天理での3年間が有ったからだと思っています。忙しい毎日が少し余裕ができてきたな...と感じる最近、4人の孫のおばあちゃん。これが60才なんだ。

7. 野尻(大東)礼子(福井県)

皆様お元気でしょうか？卒業してずいぶん時間が経ちましたね。福井に来て病院で働きながら、3人の子供を授かりました。一時期は両立が大変でした。でも、昨年初孫が誕生し、今秋長男が結婚します。はいものですね。現在は退職して主人が住む東京との往復生活です。今後は健康に気をつけながら、趣味を楽しめたらと思っています。

11. 宮本(亀江)なおみ(愛知県)

結婚を機に離職してしまいました。42歳で健康診断のパート勤め5年、ブラザー病院で短期のバイトを最後に家庭に入ってから今日に至ります。薬剤師と看護師の子供に3人の孫がいて成長が楽しみです。検査技師長の主人の健康面のサポートが私の仕事です。両親も他界しており今は洋裁、編物、写真、ピアノなどで人生を楽しんでいます。皆様に会える日を夢見ています。

12. 唐木 幹次・厚子(長野県)

私も例外に漏れず、昨年還暦を迎え現職も余すところ1年半となりました。このまま穏やかにフェードアウトしようと思っていましたが、最後の所でISO15189の認証取得を目指すことになり、準備に疲労困憊するスタッフを励ましたり、その遅しさにほくそ笑んだりの日々を送っています。妻も県下の乳がん検診に飛び回っています。

15. 河野 久(三重県)

天理よろづ相談所病院で血液、免疫血清、微生物、一般検査を行い、この1月で定年退職となります。今後も検査技師の仕事を行いたいと思っております。自由な時間が増えれば、身の周りのこと、例えば、料理、洗濯、掃除はできるようにしたいし、趣味の登山の時間も増やしたいと思っています。

16. 在長和廣(石川県)

10期の入試で不合格、翌年合格し同期より6年遅れの学生生活が始まりました。卒業ふるさとの198床の総合病院に定年まで勤め現在は地方の検査センター勤務ですが、前期高齢者の仲間になり8月15日で退職予定です。天理で学んだ3年が宝物のように感じられた検査技師人生(38年4か月)でした。

20. 田上 美鈴(大阪府)

私は、今年4月から嘱託になり、うまくいけば、後5年働けるかな。妹一人が、母の介護をしているので、去年から2週間ごとに1週間実家に泊まり、手伝っています。

21. 藤原(塚本)敦子(秋田県)

大阪で勤務していた時に細胞検査士資格を取得、24歳の時に秋田に戻り検診団体に就職しました。以後はひたすら顕微鏡を覗き続け

た毎日でした。2年前、白内障になり眼内レンズを入れることに。高度先進医療で多焦点レンズをいれたら、眼鏡にもコンタクトレンズにさよならできました。お勧め。

22. 間本佳子(奈良県)

元気です。60歳で卒業(たぶん無事に...)これから何をしようかと、今考えています。出来れば社会とかかわり、誰かのお役にたてるように...なんて考えていますが、とりあえず年金が支給されるまでは働きます。ヨイショ!

23. 木寺(都所)きみ子(奈良県)

卒業後よろづ相談所病院で7年勤務させていただき、育児のため退職。現在は他業界で働かせていただいております。4人の子供日を過ごさせていただいております。4人の子供達もそれぞれの道を歩み始め、時折孫に癒されている今日この頃です。沢山の方々のお力をいただきお世話になりながらの毎日。感謝の気持ちでいっぱいです。

24. 牧野(永坂)ユキ(神奈川県)

保健科学研究所のプランチで、出向先は横浜動物園の近くの病院なので、土曜日などは動物園から帰る親子連れの満員バスで押し潰されながら、通勤しています。もう還暦を迎えてしまいましたが、子供達3人は働くようになつたとたん、夫がさっさと定年退職してしまいい、私は夫と猫を養わなければならなくなり、パートなのにフルで働いています。

25. 小松(西江)紀美子(富山県)

現在、臨床検査技師業務からすつかりはなれております。産業保健業務をするようになって12年になります。

平成30年同窓会事業報告・会計報告

26. 納口英次(埼玉県)

ご無沙汰しています。私は卒業後天理よろづ相談所病院、国立循環器病センターを経て現在の心臓血管研究所付属病院に入所いたしました。昨年10月に無事定年を迎え、同病院にて延長雇用していただき元気に勤めています。毎年何回かおちば帰りをさせていただいております、また皆様方とお会いできることを楽しみにしています。

32. 巻幡信広(広島県)

西日本豪雨災害が間近で発生、連日の記録的猛暑の中、尾道では断水が2週間以上も、続きました。水の恐さと大切さを実感した夏でした。被災された方は、一日も早く日常に戻れるよう祈っております。私は、身体はポンコツですが、バドミントンを週2回で若者達と楽しんでいます。定年後も少し働く予定です。

33. 正木修一(岡山県)

平成29年9月1日に出直されました。ご冥福をお祈りします。

34. 西田(松井)英子(奈良県)

今年の6月で定年退職を迎えました。38年間大きな病気や怪我もなく元気に勤め上げられたことには家族、特に儀父母に感謝、感謝です。今は、家で主人とゆっくり過ごしています。こんなにくつたりとした時を過ごすのは人生で初の経験です。今後の事はしばらくしてから考えようと思います。主人と農業し専業主婦するのもよし、又仕事するのもよしと思っています。

平成30年1月1日～平成30年11月30日までの活動報告をさせていただきます。

一. 役員会議開催

次の通り、計4回開催した。

○第1回役員会

会期：平成30年3月16日(金)

18時～19時

場所：天理医療大学 同窓会室

出席：木寺、北川、大林、清水、川

邊晴(川邊美会計代理)

欠席：武田、倉村英(倉村あ監査

代理)、中村

会議内容

①平成29年度同窓会活動報告

②寄付金納付者について

③会員名簿の確認作業

○第2回役員会

会期：平成30年5月17日(金)

18時30分～20時

場所：天理医療大学 同窓会室

出席：木寺、北川、大林、清水、川

邊美、中村

欠席：武田、倉村英(倉村あ監査

代理)

会議内容

①同窓会会報「一手一つ」第7号の

役割分担

②天理よろづ相談所学園同窓会設立準備委員会への意見集約

○第3回役員会

会期：平成30年8月27日(月)

18時30分～20時

場所：天理医療大学 演習室

出席：木寺、北川、大林、川邊晴

(川邊美会計代理)、倉村

英(倉村あ監査代理)

欠席：中村、武田、清水

会議内容

①同窓会ホームページについて

②同窓会会報「一手一つ」第7号

ページ構成について

○第4回役員会

会期：平成30年11月5日(月)

18時30分～19時45分

場所：天理医療大学 同窓会室

出席：木寺、北川、川邊晴(川邊

美会計代理)、中村、清水

英(倉村あ監査代理)

欠席：大林、武田、倉村英(倉村

あ監査代理)

会議内容

①同窓会会報「一手一つ」第7号

進行状況と手直し

②学校法人天理よろづ相談所学

園同窓会の会則(案)検討

二. 「一手一つ」第6号発行

三. 平成29年度会計報告

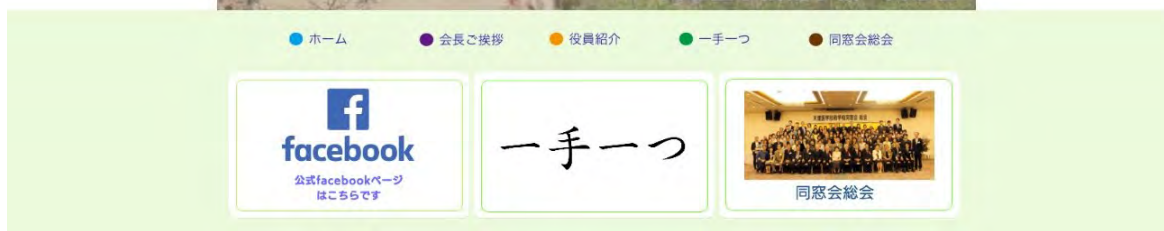
平成29年度は左記表通りの収支となりましたので報告いたします。

収入の部	
前年度繰越金	2,140,259
寄付	228,304
利息	13
合計	2,368,576
支出の部	
H28同窓会総会 案内状郵送代(再送付分)	492
HP管理料	22680
「一手一つ」印刷代	21394
「一手一つ」封筒代	4213
「一手一つ」郵送代	147000
寄付お礼状代	5884
事務局プリンタ代	38318
ゆうちょ振替受払通知票再発行代	2056
雑費(朱肉代・インク代)	722
次年度繰越金	2,125,817
合計	2,368,576

平成29年度 寄付金入金者一覧 58名 総計228,304円

多くの同窓生の皆様から寄付を賜り誠にありがとうございました。
寄付金収入の全額は、同窓会運営費の一部に充当させていただきます。

1期 神田 道代 加藤 廣子	文澤 幸子 藤野 一江 山田 秀子	藤田 富子 進士 都 9期 木寺 英明/きみ子	南 義弘/睦 弓場 富喜子	柳田 広子 13期 中 真弓美 森田 真美	14期 田中 則子 橋本 儀一/敏枝	19期 神田 典尚 窪 真理	小川 令子 吉川 佳子 永谷 道一	24期 田邊 雅世 33期 天野 陽子	40期 川邊 晴樹/美智子 41期 樫割 まさ代
3期 小西 道子 石井 容子	7期 田崎 昭夫 中田 茂	10期 末吉 範行 飯田 緑	河野 久 藤原 敦子 牧野 ユキ	仁垣 美香 近藤 和子 松本 郁子	17期 岸原 文江 18期 清松 佐知子	菅田 君子 西村 康司 安藤 薫	22期 桑野 彩 23期 北野 宏	34期 中村 彰宏 39期 石谷 彩	42期 清水 一茂 匿名希望5名
4期 宇都宮 築子	8期 今田 千鶴 堀江 ひとみ		森下 政重	久保 良子	横田 洋	21期 井上 敦美			



同窓会ウェブサイトリニューアルのお知らせ



同窓会新役員となつて2度目の「一手一つ」
発行となりました。2回目の編集作業とい
うこともあり、最初に比べれば要領よくでき
たのではないかと感じています。さらに読み
やすく読みたくなるような会報を発行でき
ればと思いますので、ご要望等ございましたら、
ウェブサイト記載のアドレスへよろしく
お願いいたします。

編集後記



同窓会新ウェブサイト QRコード

*アプリの種類によっては読み込めないことが
ございますので、ご了承ください

平成30年9月より同窓会ウェブサ
イトがリニューアル(維持費無料)さ
れました。会報であります「一手一つ」
がウェブ上で閲覧可能になっていま
す。また、これまでのお問い合わせフ
ォームがなくなり、ウェブサイトの中
ドレスへ住所変更等あれば送信して
いただければ大変助かります。ご協
力をよろしくお願いいたします。

同窓会幹事(第42期卒) 清水一茂